令和８年度　宮城県中学校総合体育大会

第７５回 宮城県中学校総合体育大会柔道競技要項

１　目　　的　この大会は，中学校教育の一環として中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え，技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり，心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに，中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。

２　会　　期　令和８年７月２１日（火）～２３日（木）（※７／２０　１６時から会場準備）

７月２１日（火）7:50～ 8:15　開館・受付（団体戦）　**※1F 研修室**
入口は２階のみを使用（３日間通して）
8:40～ 9:10　公式計量・柔道衣点検（3F 剣道場）
W-up（1F 柔道場）※団体試合出場者のみ
※予備計量は本計量の前までとする
9:20～10:00　監督・審判会議　**※3F *剣道場***
10:10～10:30　開会式
10:40　競技開始（男女団体予選リーグ）

７月２２日（水）7:30～　開館（団体決勝トーナメント進出校）
8:30～ 8:50　監督・審判会議　**※3F *剣道場***
9:00　競技開始（男女団体　決勝トーナメント）
11:15～　表彰式
11:30～12:15　受付（個人戦）　**※1F 研修室**
11:30～12:15　非公式計量（男女個人戦出場者）
12:15～13:00　公式計量・柔道衣点検
13:15～13:45　監督会議　**※3F *剣道場***
＊表彰式終了後，全国大会（優勝校），東北大会（男子４校，女子２校）説明会　※1F 研修室

７月２３日（木）7:30～　開館（個人戦男女１６階級）
8:20～ 8:45　監督・審判会議　**※3F *剣道場***
9:00～　競技開始（個人戦１６階級）
15:00～　表彰式・閉会式
＊表彰式終了後，全国大会（優勝者），東北大会（各階級男子４名，女子２名）説明会　※1F 研修室
＊試合の進行によって時程変更あり

３　会　　場　『宮城県武道館』　〒982-0844　仙台市太白区根岸町 15-1　℡022-249-1216

４　参加資格　(1)宮城県中学校体育連盟が示す条件等に準ずる。
(2)地域クラブ活動に所属する生徒【特例措置】
宮城県中学校体育連盟が示す条件等に準ずることに加え，柔道競技において大会における地域スポーツ団体等の参加資格特例条件を次の通りとする。
①公益財団法人全日本柔道連盟（以下，全柔連）が定めた令和８年度において，各都道府県柔道連盟（協会）を通して全柔連に加盟，登録を済ませている。加盟，登録上，届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。
ア　チームとして「団体登録」を済ませている → 団体戦に出場可
イ　競技者として「競技者登録」を済ませている → 個人戦に出場可
②大会の引率，監督，帯同コーチは，宮城県大会において全柔連公認指導者資格Ｃ指導員以上の資格を有していなければならない。
③大会参加にあたり，上記参加資格特例条件等に対して虚偽，違反，逸脱行為が発覚した場合は，同一年度の地域スポーツ団体等の大会参加資格を取り消し，チーム及び該当所属選手ともに令和８年度内の参加を認めない。

5　監督・引率　(1) 学校においては，引率者及び監督は当該校の校長・教員（非常勤は除く）・部活動指導員（※１）とする。ただし，部活動指導員は教育委員会設置要項のもと，以下の条件を満たしていなければならない。

①満２０歳以上であること。
②主催者からの要望があった場合，大会運営に協力する姿勢があること。
③中学校体育連盟の主催する研修会を受講していること。
④他校と兼務していないこと。
⑤次のいずれかに当てはまる者とする。
ア　教育職員免許法に基づく免許を有する者。
イ　公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有する者。
ウ　競技の専門性と学校教育に関する理解を有し，適切な指導を行うことのできる者。

※1 ここでいう「部活動指導員」は，学校教育法施行規則第７８条の２に示されている者であり，学校設置者により任用されている者をいう。

(2)部活動指導員が監督，引率をする場合は，教育活動の一環としての大会であるとの観点から，「顧問または当該部活動を担当する教諭等」(※2)がチームに帯同すること。

※2 「学校教育法施行規則の一部を改正する省令」1 部活動指導員の職務第 2 留意事項(3)(4)より。

(3)大会では外部コーチをおくことができる。ただし，外部コーチは出場校の校長が認めたものとする。しかし，当該校以外の中学校教職員は外部コーチになれない。また，同一人が複数校の外部コーチにはなれない。１校につき１名（他校と兼ねることはできない）を認めることとする。

コーチの条件とは次の通りである。
①　当該校の校長が認めた者。
②　年間を通じ，日頃から学校の部活動を指導している者。
③　中体連の大会運営に関して，理解を示し，協力的な者。
④　外部コーチは，中学校の教職員（行政に勤務している教員も含む）でないこと。
⑤　審判員に準じた服装をすること。

※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は，会場より退場をさせる事もある。

(4)引率・監督は，審判員に準じた服装をすること。
(5)その他の団体においては，同一競技内において，中学校体育連盟が主催する大会（予選を含む）で監督，コーチとして登録できるチームは１チームのみであること。監督，コーチ含めて最大で３名までの登録を認める。
(6)本大会に出場するチーム・選手の引率者，監督，外部指導者（コーチ）等は，部活動中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていないものであることとする。また，外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して，大会申込書を作成する。また，地域クラブ活動においても指導者に暴力等がないことを代表者が確認して，大会申込書を作成すること。何らかの形で虚偽や暴力等の事実が判明した場合は参加を認めない。

6　競技規則　(1)国際柔道連盟試合審判規程（2025 年 4 月 1 日施行の改正ルール）及び国内における「**少年大会試合審判規程**」（2026 年 4 月 1 日から施行を適用），今大会申し合わせ事項によって行う。
(2)柔道衣は白色とし，女子の黒帯は白線入りを不可とする。
(3)(公財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。
(4)柔道修行６ヶ月の期間を経て受身や基本動作に習熟し，試合等の攻防に対応できる体力が備わった選手を登録することとする。

7　競技方法　(1)団体戦

① 抽選により男女４組に分け，各組でリーグ方式を行い，男女共に各組の２位までの８チームによって決勝トーナメント方式を行うことを基本とする。
（出場チーム数により変更になる場合もある。）

② 男子は１チーム５人制，女子は１チーム３人制により試合を行う。

③ チーム編成は，男女とも体重の重い者を大将とし，以下順次体重順とする。交代の選手と入れ替えた場合においても，同様に体重順とする。試合毎の選手位置の入れ替え及び一度退いた選手の再出場は認めない。

※選手変更は，１つ前の試合が始まる前までに，その都度監督が所定の用紙に記入し，所定の手続きを行う。（準決勝，決勝を除く）

④ 試合時間は３分間とし，代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

⑤ 優勢勝ちの判定基準は，「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差２以上）」とする。

⑥ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則負け」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」＞「GS 一本」＝「GS 反則負け」＞「GS 技あり」＞「GS 有効」＞「GS 僅差」

⑦ 有効による勝敗について

ア 赤選手：有効２　　白選手：有効１→赤選手の勝ち

イ 赤選手：技あり１　白選手：有効３→赤選手の勝ち

ウ 同点による勝敗の基準→【ハイスコアがあるチームの勝利】

⑧ リーグ方式の順位は，次の方法によって決定する。

ア チーム間における勝ち，引き分け，負けの率による。

イ アにおいて同等の場合は，勝ち数の合計による。

ウ イにおいて同等の場合は，勝ちの内容により決定する。

エ ウにおいて同等の場合は，負け数の合計による。

オ エにおいて同等の場合は，負けの内容により決定する。

カ オにおいて同等の場合は，１名による代表戦を１回行い，決勝トーナメント方式への出場チームを決定する（３校同等の場合は，代表者３名によるリーグ方式を行う）。

⑨ トーナメント方式の順位は，次の方法によって決定する。

ア　チーム間における勝ち数による。

イ　アにおいて同等の場合は，内容により決定する。

ウ　イにおいて同等の場合は，１名による代表戦により決定する。

⑩ 代表戦は任意の選手とし，判定基準は団体戦と同様とするが，３分間の本戦で得点差がない場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合，「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。

⑪ 組み合わせにおいて，令和６年度宮城県中学校新人柔道大会上位８チームの地区をシードとする。

(2) 個人戦

①男女とも，各階級トーナメント方式で行う。ただし，出場者が３名の場合はリーグ戦で行う。

②試合時間は３分間とし，延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。

③優勢勝ちの判定基準は，「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差２以上）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦では技による得点がない場合，「指導」差が上回った時点でその選手の負けとする。

④組み合わせにおいて，令和７年度宮城県下中学生柔道新人体重別選手権大会の結果をシードに反映する。

(3) その他

①上位大会の出場権をかけた試合において，両者反則負けの場合には，抽選によっ

て権利者を決める。（団体戦の場合は監督，個人戦の場合は監督の立会いの下選手が引く。※抽選棒は審判長が持つこととする。）

8　参 加 数　(1)団体試合，個人試合とも会報の令和８年度種目別一覧，出場枠備考欄参照のこと。
①団体戦のチームは，１校単位で編成したチームとする。
②男子チームの人員は，選手８名以内（選手５名・補欠３名）とする。
③女子チームの人員は，選手５名以内（選手３名・補欠２名）とする。

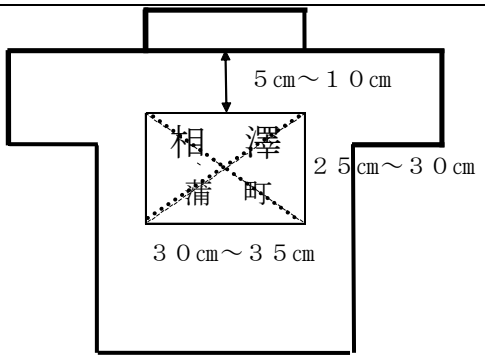
(2)個人戦は男女とも８階級とする。また，体重区分は次の通りとする。

①男子	５０kg級（５０kg以下）	５５kg級（５０kg超～５５kg以下）
	６０kg級（５５kg超～６０kg以下）	６６kg級（６０kg超～６６kg以下）
	７３kg級（６６kg超～７３kg以下）	８１kg級（７３kg超～８１kg以下）
	９０kg級（８１kg超～９０kg以下）	９０kg超級（９０kg超）
②女子	４０kg級（４０kg以下）	４４kg級（４０kg超～４４kg以下）
	４８kg級（４４kg超～４８kg以下）	５２kg級（４８kg超～５２kg以下）
	５７kg級（５２kg超～５７kg以下）	６３kg級（５７kg超～６３kg以下）
	７０kg級（６３kg超～７０kg以下）	７０kg超級（７０kg超）

9　計量・柔道衣点検　計量および柔道衣点検は，下記の方法にて行う。
(1)【計　　量】
① 公式計量の前に非公式計量（仮計量）を行うことを認める。
② 非公式計量では，指定時間内に自由に体重を測定することができる。
③ 公式計量は指定された時間内に１回とし，再計量は一切認めない。
④ 公式計量の服装は，男子は下穿き，女子はＴシャツと下穿きの着用を認める。
なお，下着の着用は認めるが，包帯・サポーター等の着用は一切認めない。
ア　団体戦　○チームごとに登録選手全員が測定を行うこと。
○公式計量には監督が立ち会うこと。
○順番の入れ替え等があった場合は通知する。
イ　個人戦　○定められた階級の体重区分内にない者は失格とする。
※別室計量が必要な者は，あらかじめ申し出ること。
(2)【柔道衣点検】
①公益財団法人　全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿き・帯）を着用する。（認証ラベルがはがれているものは認めない。）
②柔道衣に必ずゼッケン（チーム名・名字入り）を縫い付けて出場すること。
ア　布地は白（晒，太綾）とする。
イ　サイズは横３０～３５cm，縦２５～３０cm とする。
ウ　名字（姓）は上側２／３，学校名は下側１／３とする。
エ　書体は太字ゴシック体とする（明朝または楷書でもよい）。
オ　文字色は，男子は黒色，女子は濃い赤色とする。
カ　縫い付け場所は襟から５cm～１0cm 下部の位置で，周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
③女子は，上衣の下に白色または白に近い色の半袖で無地のＴシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。　※Ｔシャツのマーキングについては，全日本柔道連盟が定める規程（平成２５年４月１日より施行）に準ずる。
④柔道衣コントロールの際は，試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。
⑤胸マーキング等について，ゼッケンのチーム名と異なる場合等は不可とする。
⑥試合時に膝下より長いスパッツ等の着用は認めない。
※帯については，「JU ラベル」「IJF マーク」がついているものを使用すること。

〈例〉

※ゼッケンのサイズ及び縫いつけ場所



10　表　　彰

(1)団体戦

①優勝チームには，賞状・優勝杯を授与する。優勝杯は持ち回りとし，翌年の大会で返却する。

②準優勝チーム・第３位チーム（２チーム）には，賞状を授与する。

(2)個人戦

①各階級第１位には優勝杯と賞状を授与する。第２位と第３位（２名）には，賞状を授与する。

※但し，参加者３～７名の場合は２位まで，１～２名の場合は１位のみ表彰する。

11　上位大会への出場枠

(1)団体戦

①　男女団体優勝チームは，全国大会，東北大会への出場権を得る。

②　男子団体２～３位（３チーム），女子団体２位は東北大会への出場権を得る。

(2)個人戦

①　男女各階級第１位は，全国大会，東北大会への出場権を得る。

②　男子各階級第２～３位（３名），女子各階級第２位は東北大会への出場権を得る。

※上位大会出場者で，怪我等で出られなくなった場合，速やかに委員長に報告すること。

※全国大会出場チーム（選手）が怪我等により出場できなくなった場合，①２位，②１位に敗退した３位のチーム（選手），③２位に敗退した３位のチーム（選手）の順で出場者を決定する。

※東北大会出場チーム（選手）者が怪我等により出場できなくなった場合は，男子は①１位に敗退した５位のチーム（選手），②２位に敗退した５位のチーム（選手）の順で出場チーム（選手）を決定する。女子は①１位に敗退した３位のチーム（選手），②２位に敗退した３位のチーム（選手）の順で出場チーム（選手）を決定する。

12　参加申込

(1)申込み方法

出場チームの顧問の先生は，宮城県中学校体育連盟 web サイト内よりダウンロードし，必要書類をそろえ，校長職印（代表者印）を押印した申込書等を PDF 化（フルカラー・３００ｄｐｉ以上に限る）し，下記申込先に E メールで送付すること。また，男女団体出場校は，申込書（№２，№３）を**E メールに添付**し，同申込先に送付すること。

(2)申込書類

① 柔道競技申込書（№１）※必ず提出（校長職印（代表者印）を忘れずに）

② 柔道競技申込書（№２）団体戦（男子）

③ 柔道競技申込書（№３）団体戦（女子）

④ 柔道競技申込書（№４）個人戦（男子）

⑤ 柔道競技申込書（№５）個人戦（女子）

★申込期限　令和８年６月１７日（水）１６：００厳守

(3) 申込先

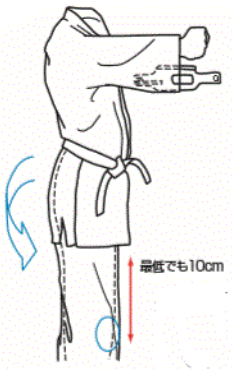
〒984-0834 仙台市若林区蒲町９－１
仙台市立蒲町中学校　相　澤　祐　介
℡：022-285-6521　　FAX：022-294-1362
ｍａｉｌ【ts014712@g.sendai-c.ed.jp】

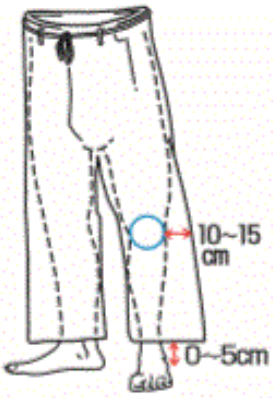
13　その他

(1) 団体，個人ともに所定の期日までに申し込みのない場合は棄権とみなし以後は受け付けない。
(2) 柔道精神に反する選手は，大会への出場を停止する。
(3) 試合会場への出入りは，役員，監督，選手，補助員，大会に登録したコーチのみとする。上記以外の出入りがあった場合は，そのチームが負けになることもあり得る。
(4) 大会申込書を提出後，選手の病気，負傷等で選手変更を必要とする場合。
　ア　団体試合…当該校長から理由書を提出すること。(様式は特にないが職印必要)
　　変更届は，監督会議前の受付時において提出すること。試合当日は，選手登録の交代のみとし，体重順に編成替えをすること。(一度退いた選手の再出場は認めない。)
　イ　個人試合…当該校長より辞退届を出し，代わりの選手をその郡市，地区が推薦し出場させることができる。変更届は当該校長名で提出する。変更届並びに辞退届は，監督会議前の受付時において提出すること。
(5) 脳振盪対応について選手及び指導者は下記事項を遵守する。
　①大会１ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は脳神経外科の診察を受け，出場の許可を得ること。
　②大会中，脳震盪を受傷した者は，継続して当該大会に出場することは不可とする。（尚，至急専門医の精査を受けること。）
　③練習再開に際しては，脳神経外科の診断を受け，許可を得ること。当該選手の指導者は大会事務局及び全柔連に対し，書面により事故報告を提出すること。
(6) 学校においては，独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害救済給付が適用される。地域クラブ活動においては，当該クラブ代表者の責任のもと加入している傷害保険等の定めを適用する。
(7) 観戦者における競技会場内，または応援席や駐車場等，会場周辺の事故，破損等については，大会主催者や施設管理者は一切の責任を負わない。一切の事故は自己責任であることを理解した上で観戦するものとする。

規格柔道衣（コントロール面・規格面）について

○袖は柔道衣コントロールを受けるときの高さまで上げた時，手首を含め柔道衣に覆われていなければならない。
○胸骨の一番上から襟の重なり合う部分まで垂直で 10 ㎝未満
○上衣の併せ目で下襟の長さが水平で 25 ㎝以上なくてはいけない。
○襟幅は最大 4 ㎝，4 筋縫いであること。
○上衣丈は，前後が同等の長さで臀部を完全に覆っていること。
○下穿の裾口からくるぶしの外側（足首）までの距離は 5 ㎝かそれ以下であること。
○下穿の幅は，膝の位置で，10 ㎝～15 ㎝であること。
○帯中央の結び目から帯の端までの長さは，20 ㎝～30 ㎝であること。

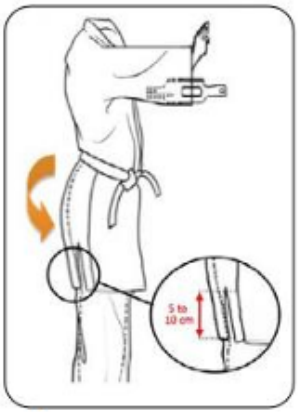




上衣の前後が同等の長さでお尻を完璧に覆っており、
各階級の規程に合っているかを目視にて確認。

男女 73 kg級以下(-48・-52・-57・-63・-70・-60・-66・-73 kg)

背中の帯から 20 cm以上であるかを確認。

男女 73 kg級以上(78・+78・-81・-90・-100・+100Kg)

背中の帯から 25 cm以上であるかを確認。